

【GIGA×指導の工夫・改善】 Teamsに提出した生徒の学習課題から授業改善に繋げる

＜実施方法＞

社会や英語では、各單元ごとに個人単位やペア、グループ単位で自学習を生徒に課して、その学習課題をTeamsにアップロード。他者参照できるようにしておくとともに、授業ではクラスや学年単位で発表し合い、学び合いにつなげている。

＜考察＞

生徒が自学習した学習課題を、Teamsにアップロードしておくことで、生徒がいつでもどこでも家庭でも試験前でも他者参照できることで自分だけでは成し得ない理解度を高めることができる。また、新たな学びにもつながっている。また、教員についても、いつでもどこでも生徒の学習課題チェックができることで業務効率が上がっている。さらに生徒の学習状況や理解度を把握することができるため、次回以降の授業改善につながっている。学習課題をいつでも見返せることも生徒にとっても教員にとっても利点となっている。

■実践例：社会

◎学習目標

興味関心から学ぶ力を育み、他者と情報共有することによって、新たな知識を得るとともに更なる興味を抱かせ、幅広い教養をもつ学習者育成を目指す。

◎学習のテーマ

『私の気になる〇〇の変遷から現代社会を描き出そう』

生徒は、戦後から現代社会までの時代の移り変わりの中で、自分の興味関心ある事やモノがどう変化していったのかを調べる。

◎学習の流れ

①興味関心あることを自分で調べる

- ・調べ方は個々の判断に委ねる。
- ・PCを使っても良いし図書室へ行っても構わない。



②PowerPointにまとめる



③PCを使って一人ひとり発表

- ・クラス全体で情報を共有する。
- ・まとめた資料はTeamsで共有。
- ・他者参照できる。

